

令和6年度 第4回瑞浪市廃棄物減量等推進審議会 会議録

■日 時：令和7年3月12日（水） 午後3時00分 開会
午後3時30分 閉会

■場 所：保健センター3階大会議室

■日 程

1 会長あいさつ

2 議事

(1) パブリックコメント募集について【結果報告】・・・・・・・・・・資料1

(2) 答申案について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料2

(3) 瑞浪市一般廃棄物処理基本計画(第1次中間見直し)(案)について・・・資料3

3 その他

■出席者

安藤 昇 委員(会長) 加藤 栄子 委員 栗岡 洋美 委員
岸本 卓也 委員 安藤 香織 委員 大島 貴文 委員 渡辺 ミズカ 委員

■欠席者

松崎 英之 委員 松田 真太朗 委員

■事務局

鈴木 創造(理事兼経済部長) 渡辺 芳夫(経済部次長兼環境課長)
三浦正二郎(クリーンセンター所長) 青山 哲也(環境課廃棄物対策係長)
大山 将平(環境課廃棄物対策係)
水野 洋輔(日本工営都市空間㈱) 上田 成人(日本工営都市空間㈱)
コウ キカン(日本工営都市空間㈱)

○事務局は、瑞浪市廃棄物の処理及び清掃に関する条例施行規則第2条第5項の規定による会議の成立の宣言を行った。

○会長あいさつの後、本日の議事3件について、資料に基づいて事務局より説明を行ったのち、質疑を行った。

議事

(1) パブリックコメント募集について【結果報告】

意見なし

(2) 答申案について

(3) 瑞浪市一般廃棄物処理基本計画(第1次中間見直し)(案)について

※(2)と(3)は事務局よりまとめて説明

【委員】

ごみ処理機を施策から除いた理由を教えてください。生ごみの助成があるとよいと思っていた。

【事務局】

以前は生ごみのみの施策となっていたが、コンポストなど多様な方法があることから、生ごみ処理機の補助などの検討も包含する施策内容とした。

【委員】

アンケートの回答率が半分程度であり、回答した方は意識が高い方だと思う。回答の偏りがある可能性についてはどのように考えているか。

【事務局】

積極的に周知を行う施策を講じて意識の低い方にも啓発していきたい。

【委員】

啓蒙活動を丁寧にしていかないとよい施策を打ち出してもいい形にはならない。意識の低い方、20～30代の若い方に対して地球規模の危機感をもっと感じてもらったほうがよいのでは。今後の考えを聞きたい。

【事務局】

出前講座の周知などに力を入れてやっていくべきという意見が以前の委員からも出されていた。ただコロナの影響もあり R6 の開催実績は 0 件であった。出前講座の申し込みをいただけるよう周知していきたい。クリーンセンターでは市内の全小学 4 年生の見学受け入れを行い、ごみについての学習を進めている。

【委員】

広域のごみ焼却場の見学に行き、子供達にどのように伝えるかが重要だと感じた。子どもから親へ伝えたいようなプログラムを提供できればと思う。子ども達から学ばせてもらえるような出前講座が企画できればよいと思う。

【委員】

区長会でも出前講座をするのか。

【事務局】

5 名以上集まっていれば現地に伺い説明をさせていただいている。

【委員】

審議会を通して勉強させていただいた。少しでもみなさんに周知できるような啓発ができればと思う。

【委員】

アンケート回答は女性が多かったと思うが、ごみ出しは男性も協力してみんなで行っている様子がうかがえた。

その他

○委員より食品ロス削減家計簿手帳についての紹介あり。

○現在の委員の任期は令和 7 年 10 月 11 日となっている。

○鈴木理事兼経済部長よりお礼の挨拶

以上